

資料

I	各種シート	
	資料1	実態把握のためのチェックシート…………… 59
	資料2	連携マップ様式例…………… 61
	資料3	プレ支援シート・支援シート…………… 62
	資料4	支援会議計画・記録様式例…………… 67
	資料5	特別支援教育員との支援連絡票例…………… 68
	資料6	医療機関への依頼（紹介依頼）状、御礼状例…………… 69
	* 資料1・2・4・5・6	
		「特別支援教育コーディネーターハンドブック」（2013年3月） http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/tokubetsu-shien/tokubetsushien/handbook.html
	* 資料3	
		「特別支援教育シリーズ 3集一人に光 みんなの輝き」（2009年1月） http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/tokubetsu-shien/tokubetsushien/series/tokubetsu-03.html
II	関係機関……………	70
III	参考資料……………	72

1 各種シート

資料1 実態把握のためのチェックシート

■チェックリストをつける意味は…

- 教師が特別な教育的ニーズを持っている児童・生徒の困っている点に気付く眼を持つことができる。
- 特別な教育的ニーズを持っている児童・生徒の実態を把握することができる。
- 職員同士、職員と保護者が共に付けて、それぞれの場での状況を確認することができる。

学校名： _____ 年 組 _____ 記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 氏名 _____ 記入者： _____ 関係 _____

■右側にたくさん○が付く項目は支援が必要だと思われます。

■対応法のヒントは「発達障害児を支える指導・支援事例集(長野県教育委員会2011)」に掲載されています！

		ない	ほとんどない	ときどきある	よくある
◆学習面（聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する）					
1 聞く	1 簡単な指示に対して、聞き間違いや聞き漏らしがある。 2 ゆっくり話すと理解できるが、早く話すと理解困難である。 3 相手の話を聞いていないと感じられることがある。 4 口頭による指示を覚えていられない。				
2 話す	1 筋道の通った話をするのが難しい。 2 適切な速さで話すことが難しい。(たどたどしく話したり、とても早口だったりする) 3 話すとき、抑揚が不自然だったり、声の大きさの調節が不適切だったりする。 4 語彙が少なく、指示語を多く使用する。				
3 読む	1 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。 2 語句や行を抜かししたり、繰り返して読んだりする。 3 促音や拗音などの特殊音節を読み間違える。 4 音読が遅い。				
4 書く	1 ひらがな・カタカナ・漢字をなかなか覚えられない。 2 字の形や大きさが整わない、独特の筆順で書く等、読みにくい字を書く。 3 よく書き間違える。(漢字の細かい部分や「b」と「d」を間違えたりする) 4 板書が写せない、または写すのに極端に時間がかかる。				
5 計算する	1 指を使って計算したり、九九が完全ではなかったりする。 2 簡単な計算が暗算でできなかったり、時間がかかったりする。 3 学年相応の文章題の立式が難しい。 4 学年相応の量の比較や理解が難しい。				
6 推論する	1 抽象的な概念や、事象の因果関係を理解することが困難である。 2 目的に沿って行動を計画し、課題解決に向かうことができない。 3 早合点や飛躍した考えをする。 4 表やグラフから読みとったり、まとめたりすることができる。				
◆行動面（不注意、多動性、衝動性）					
7 不注意	1 細かいところまで注意を払わなかったり不注意な間違いをしたりする。 2 学習や活動などで注意を集中し続けることが難しい。 3 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる。 4 忘れ物・なくし物が多い。 5 学習や活動を最後までやり遂げることが難しい。				
8 多動	1 授業中や座っているべき時に、席を離れてしまう。 2 手足をそわそわ動かしたり、着席している時もじもじしたりする。 3 集会に落ち着いて参加することが難しい。 4 じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。 5 静かにしていることが難しい。常にしゃべる。				

9 衝動性	1 質問が終わらないうちに答えてしまう。 2 順番を待つことが難しい、または順序良く並ぶことが苦手である。 3 他の人がしていることをさえぎったり、割り込んだり、邪魔したりする。 4 カットなりやすく、衝動的な行動が目立つ。 5 目新しいものがあるとすぐに手が出る。			
◆行動面（コミュニケーション、対人関係、こだわり等）				
10 場の理解	1 相手の気持ちを考えられない行動をする。 2 人との距離感が適切にとれない。 3 静かにすべき時に静かにする等、場に合わせた行動ができない。 4 周囲に配慮せず、自分中心の行動をする。 5 人から関わられた時の対応が、場に合っていない。			
11 コミュニケーション	1 相手の反応に関係なく、一方的に話す。 2 目と目で見つめ合う、身振りなどの多彩な非言語的な行動が困難である。 3 冗談やユーモア・嫌みな言葉を理解せず、言葉どおりに受け止めてしまう。 4 相手の質問の意図に沿った受け答えをしない。 5 場面に関係なく独り言を言ったり、うなり声を出したりする。			
12 対人関係	1 休み時間に一人でいることが多い。 2 ロげんかやこぜりあいなど、友だちとのトラブルが多い。 3 相手の気持ちを推し量ることができない。 4 他の生徒からからかわれたり、いじめられることがある。 5 自分が非難されたり、非難されていると思ひ込んだりすると、過剰な反応をする。			
13 感覚過敏	1 偏食がある。 2 大きな音・特定の音を嫌がる。 3 帽子や靴を履くことを嫌がる。 4 特定のにおいを嫌がる。 5 ひどく痛がったり、痛みを感じていないように見えたりする。			
14 こだわり	1 急な日程変更や変化があると対応できない。 2 あることに強くこだわることによって、簡単な活動も取り組みなくなることもある。 3 特定のものに強い執着がある。 4 特定の分野に強い興味、関心があり大人顔負けの知識がある。 5 一番や正解でないと許せない。			

対応法のヒントが「発達障害児を支える指導・支援事例集(長野県教育委員会2011)」に掲載されています！

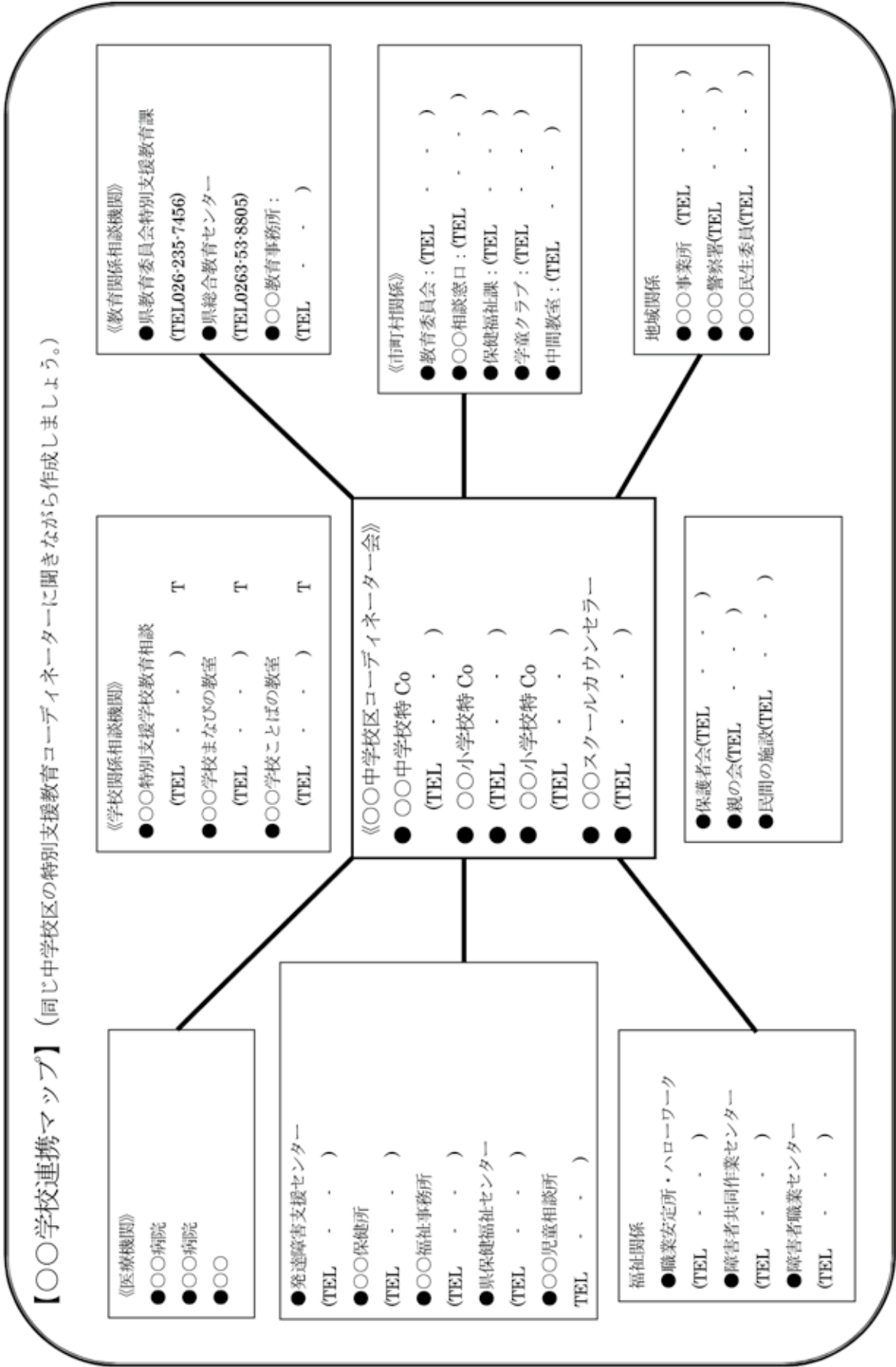
<p>◆精神科への通院をすすめるべき状態</p> 1 躁うつ・無気力の状態がみられる 2 自暴自棄になっている 3 睡眠障害がみられる 4 幻覚・妄想がみられる 5 人間不信に陥っている 6 反抗・挑戦的な態度が多く見られる
--

[チェックリスト使用に当たっての注意]

・チェックリストは児童・生徒の実態を把握するためのものであり、障害の診断をするためのものではありません。

・保護者の同意を得ずに実施したチェックリストの結果を、保護者に告げたり、検査や診断に結びつけたりすることは避けましょう。

資料2 連携マップ様式例



資料3 プレ支援シート

【中学校記入用】

プレ支援シート

記入者所属・氏名		記入日	平成 年 月 日
ふりがな 氏 名		男 女	出身中学校 中学校
医療機関	通院の有無（有・無）医療機関名： 主治医： 通院の状況：		
診 断	医師による診断の有無（有・無）診断医療機関名： 診断名「 」 診断年月： 年 月		
本人の特徴	（性格・行動・得意なこと・苦手なこと など）		
本人の願い		保護者の願い	
	これまでの取り組み		今後必要と思われる支援
学習の支援			
行動の支援			
対人関係の支援			
その他			
連携している外部機関・相談の経緯 等			
その他（発達検査の結果等）			

- ※ このプレ支援シートは、学校生活に支援を必要とする生徒が高等学校入学後円滑に学校生活を送れるよう支援体制を整えるための情報となるものです。ご協力をお願いします。
- ※ 「個別の教育支援計画」、中学校の「個別の指導計画」がありましたら保護者の了承を得た上で、併せてご提出ください。

プレ支援シート（家庭連絡票）

記入者		続柄		記入日	平成 年 月 日
ふりがな 氏名				男 女	出身中学校 中学校
医療機関	通院の有無（有・無）医療機関名： 主治医： 通院の状況：				
診断	医師による診断の有無（有・無）診断医療機関名： 診断名「 」診断年月： 年 月				
本人の特徴	（性格・行動・得意なこと・苦手なこと など）				
これまでの様子 ① 中学校の登校の様子 ② 中学校での様子 ③ 交友関係の様子 ④ 担任との関係 その他	（特に高校に伝えておいた方がいいことがあればご記入ください）				
今後してほしい支援 ① 学習の支援 ② 行動の支援 ③ 対人関係の支援 その他	（学校生活で特に配慮が必要なことがあればご記入ください）				
連携している外部機関・相談の経緯 等					
その他					

※ このプレ支援シート（家庭連絡票）は、生徒が高校入学後、円滑に学校生活を送れるように支援体制を整えるためのものです。お子さんが高校生活を送る上で特に配慮が必要なことや学校に伝えておきたいこと等ありましたら、差し支えない範囲でご記入ください。

資料3 支援シート

(例1) 平成 年度 個別の指導計画 (月～ 月)

記入者：

作成年月日：

年 月 日

年		組氏名	担任名	
観 点	ねらい	支援方法		評価
日常生活				
行動				
対人関係				
学習面	(教科名)			
	(教科名)			
	(教科名)			
	(教科名)			

(例2) 平成 年度 個別の指導計画 (月 ~ 月)

記入者： 作成年月日： 年 月 日

年 組 番 氏名		担任名		
基本的な配慮・支援(生活・学習共通)				
実態	目標	具体的な支援	評価・考察	
教科での配慮・支援				
教科	実態	目標	具体的な支援	評価・考察
国語				
数学				
英語				
その他				

(例3) 平成 年度 個別の指導計画 (月 ~ 月)
 記入者: 作成年月日: 年 月 日

年 組 番 氏名		担任名
気づき	担任より	
	保護者より	
	生徒より	
緊急な課題	現状と課題	具体的な対応・支援策
	状況	担任
	背景	学級
	解釈	家庭 その他
教科での課題・部活・その他	教科学習の状況	具体的な対応・配慮・支援策
	国語	
	数学	
	英語	
	その他の教科	
	その他(部活等)	
人間関係 生活・	現状と課題	具体的な支援内容
家庭	現状と課題	具体的な相談内容

資料4 支援会議計画・記録様式例

平成	年度 No.	期日：H	年	月	日	会場：
参加者						時間：
						司会：
						記録：
話し合いの内容	○本日の話し合いのねらい					
	1 ご家庭より					
	2 担任より					
	3 外部機関の方より					
	4 質問					
5 協議						
6 支援の方向・目標						
[次回：平成 年 月 日]						

資料5 特別支援教育支援員との支援連絡票例

支 援 連 絡 票			
		児 童 ・ 生 徒 名	年 組
月日 校時	教科 活動内容	支援内容・活動の様子	担任より

資料6 医療機関への依頼（紹介依頼）状、御礼状例

平成〇〇年（〇〇〇〇年）〇月〇〇日

〇〇〇〇 病院 〇〇科
 〇〇 〇〇先生 御侍史

〇〇市立〇〇小学校長
 〇〇 〇〇

診療情報提供書に対するお礼

謹啓

〇〇の候、〇〇先生におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は お忙しい中、〇〇〇〇君（〇〇市立〇〇学校〇年）につきましても、診療情報提供書をお送りいただきありがとうございます。ご診断をいただいたことで、保護者も本人も少し安心することができたようです。深く感謝申し上げます。

今後、どのような支援、合理的配慮が必要になるか、先生にご示唆いただきながら、考えてまいりたいと思います。

末筆になりましたが、先生のますますのご健勝とご発展を心よりお祈りし、着信の報告とお礼のご挨拶といたします。ありがとうございます。ありがとうございました。

謹言

御依頼

〇〇〇〇 医院

〇〇 〇〇先生 御侍史

〇〇 〇〇（〇〇〇）君（〇〇歳 〇〇市立 〇〇学校 〇年）をご紹介申し上げますので、ご高診くださいますようお願い申し上げます。

かねてより、〇〇先生にご高診いただいております 〇〇〇〇君ですが、読み書きが苦手ということで、保護者より本校特別支援教育コーディネーターに相談がありました。

（本文： 現状、保護者の思いを端的に記す。）

先生におかれましては、専門的なお立場で高診いただき、施療いただきたくご依頼申し上げます。また、学習時、生活時の適切な配慮につきましてもご示唆いただければ幸いです。

〔 また、保護者は「〇〇病院」〇〇科の受診を希望しています。そちらへのご紹介もお願ひできれば幸いです。〕

他の病院への紹介を依頼する場合に記します

なお、ご参考までに、発達検査の結果および観察所見を同封いたしました。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

平成〇〇年〇〇月〇〇日
 〇〇市立 〇〇〇学校長
 〇〇 〇〇

連絡先
 〇〇市立 〇〇〇学校
 特別支援教育コーディネーター
 〇〇〇〇
 電話〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

II 関係機関

児童期・思春期・青年期に関わる機関はさまざまです。それぞれ特色があります。連携する際には、それぞれの機関の特徴を十分に把握する必要があります。

面接相談は予約制となっているところがありますので、事前に電話で問い合わせてください。

教育関係相談機関

教育上のあらゆる問題について、親や児童・生徒からの相談を受け付けています。

名 称	電話番号
こどもの権利支援センター	090-7286-5152
	026-235-7458
総合教育センター	0263-53-8811
24時間いじめ相談電話	0570-078310
東信教育事務所	0267-24-5570
南信教育事務所	0265-72-4647
飯田事務所	0265-53-0462
中信教育事務所	0263-47-7830
北信教育事務所	026-232-7830

教育委員会で紹介している相談窓口



長野県教育委員会
Nagano Prefectural Board of Education

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/jouhou/soudan/soudan2.htm>

長野県教育委員会ホームページ
→ 相談窓口

保健福祉事務所（保健所）

精神科医等による精神保健相談（一般及び思春期）などを行なっています。

名 称	電話番号
佐久保健福祉事務所	0267-63-3164
上田保健福祉事務所	0268-25-7149
諏訪保健福祉事務所	0266-57-2927
伊那保健福祉事務所	0265-76-6837
飯田保健福祉事務所	0265-53-0444
木曾保健福祉事務所	0264-25-2233
松本保健福祉事務所	0263-40-1938
大町保健福祉事務所	0261-23-6526
長野保健福祉事務所	026-225-9045
北信保健福祉事務所	0269-62-6104
長野市保健所	026-226-9960

市町村

市町村においても、「心の健康」についての支援を行っています。各市町村の保健センターなどにお尋ねください。



児童相談所

名 称	電話番号
中央児童相談所	026-238-8010
松本児童相談所	0263-91-3370
飯田児童相談所	0265-25-8300
諏訪児童相談所	0266-52-0056
佐久児童相談所	0267-67-3437

18歳未満の児童生徒の全般的な相談に応じています。

児童虐待などで、家庭から離す（児童養護施設などを利用する）ことが必要な場合もあります。それは、十分に調査・判断した上で決定していきます。

なお、知的障害に対する療育手帳の発行機関でもあります。

地域若者サポートステーション（愛称：「サポステ」）

名 称	電話番号	所在地
ながの若者サポートステーション	026-213-6051	長野市
若者サポートステーション・シナノ	0268-75-2383	上田市
しおじり若者サポートステーションCAN	0263-54-6155	塩尻市

働くことにさまざまな悩みを抱えている15歳～39歳くらいまでの若者の皆さんが就労に向かえるよう、多様な支援サービスでサポートします。



認定特定非営利活動法人
長野犯罪被害者支援センター
長野県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

犯罪被害者の相談や、法廷等への付き添いなど直接支援を行う団体です。

電話番号：026-233-7848（事務局）

長野相談室 026-233-7830 中信相談室 0263-73-0783 南信相談室 0265-76-7830

長野県広域災害・救急医療情報システム
ながの医療情報Net

長野県内の医療機関情報を検索することができます。【ながの医療情報Net】で検索

子ども・若者サポートネット信州

長野県内において、子ども若者支援にとりくむ団体や、公的支援機関一覧などを掲載した総合的情報サイトで、相談窓口などを検索できる（運営：長野県企画部次世代サポート課）。

【子ども・若者サポートネット信州】で検索

長野県精神保健福祉センター

（ひきこもり支援センター）

（発達障害者支援センター）

（自殺予防情報センター）

電話番号：026-227-1810

長野県精神保健福祉センターは、一般的な精神保健福祉センター業務のほかに、いくつかの機能を持っています。

ご相談の内容によって、助言したり身近な機関をご紹介しますりしています。

III 参考資料

インターネット上で利用できる情報のホームページ一覧です。



メンタルヘルス全般

- | | |
|---|--|
| 1) 厚生労働省《こころもメンテしよう》 | 「こころの病気について知る」「こころのメンテについて」など、普及啓発資料がある。若者対象であるが、「ご家族・教職員のみなさんへ」のページもある。 |
| http://www.mhlw.go.jp/kokoro/youth/ | |
| 2) 厚生労働省《みんなのメンタルヘルス》 | こころの健康や病気、支援やサービスの情報を掲載 |
| http://www.mhlw.go.jp/kokoro/ | |
| 3) 厚生労働省健康情報サイト《e-ヘルスネット》 | 「休む・心の健康」情報提供あり。 |
| http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/heart/index.html | |
| 4) 「子どもの心の診療医」テキスト | 厚生労働省 平成20年3月 一般小児科医、一般精神科医、子どもの心の診療医向けのテキスト |
| http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kokoro-shinryoui.html | |
| 5) ユースアドバイザー養成プログラム（改訂版） | 内閣府平成22年6月版。「子ども・若者育成支援推進法」の理念、目的を実現するための支援者マニュアル。 |
| http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/h19-2/html/ua_mkj.html | |
| 6) 教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応 | 文部科学省 平成21年3月版 |
| http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1260335.htm | |
| 7) 教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引 | 文部科学省 平成23年8月版 |
| http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1309933.htm | |
| ひきこもり | |
| 8) ひきこもりをめぐる地域精神保健活動のガイドライン | 厚生労働省 平成15年7月発行 |
| http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/07/tp0728-1.html | |
| 9) ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン | 厚生労働省 平成22年5月発行 |
| http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/hikikomori/handbook/ua_mkj_pdf.html | |
| 10) ひきこもり支援者読本 | 内閣府 平成23年7月発行 |
| http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/hikikomori/handbook/ua_mkj_pdf.html | |

■ 非行問題・その他青少年に関する調査研究等

- 11) 青少年に関する調査研究等 内閣府 総合メニュー
<http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu.htm>

■ いじめ問題

- 12) 国のいじめ問題への取り組み 文部科学省の情報
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm
- 13) 長野県はいじめ問題への取り組み 長野県教育委員会教学指導課心の支援室の情報
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/ijimemondai.htm>

■ 自殺対策

- 14) 内閣府《自殺対策》 全国のとりくみの指針となる内閣府の自殺対策のページ「自殺総合対策大綱」もここから
<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/>
- 15) 自殺予防情報センター 自殺対策の様々な情報を掲載している
<http://ikiru.ncnp.go.jp/ikiru-hp/>
- 16) 文部科学省《教師が知っておきたい子どもの自殺予防》
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/046/gaiyou/1259186.htm

■ 災害・犯罪被害者支援・危機管理

- 17) 子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に 文部科学省 平成22年7月版
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297484.htm
- 18) 学校危機管理マニュアル作成の手引き 長野県教育委員会
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/hokenkou/kikikanri/kikikanri.htm>
- 19) 法務省「犯罪被害者の方々へ」 法務省の、犯罪被害に関するさまざまな支援や情報のページ
http://www.moj.go.jp/keiji1/keiji_keiji11.html

■ その他

- 20) 「早期支援について」 Julia Kim-Cohen. et.al., "Prior Juvenile Diagnoses in Adults with Mental Disorder". Arch Gen Psychiatry.2003;60:709-717 (厚生労働省第「16回今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」提出資料)
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/04/dl/s0423-7d.pdf>

本書は、文部科学省委託事業「学校保健課題解決支援事業」により、長野県教育委員会が設置した「学校保健課題解決支援協議会」で作成したものです。

「学校における健康課題解決のためのてびき～心の健康問題の早期発見・早期対応・連携のために～」
作成委員名簿（平成 25 年度）

◎印 委員長（五十音順）

	勝山真由美	長野工業高等学校 養護教諭
◎	菊地紀美子	飯田女子短期大学 准教授
	小林志津江	若槻養護学校 養護教諭
	小松 信美	千曲市立埴生小学校 校長
	長坂 久子	心の支援室 指導主事
	長谷川久江	麻績村立麻績小学校 養護教諭
	畠山 文子	上田市立第三中学校 養護教諭
	前北 晃	ながの若者サポートステーション 総括コーディネーター
	宮田 恭子	総合教育センター生徒指導・特別支援教育部 専門主事
	遊木 正俊	篠ノ井橋病院 院長
		健康相談支援体制整備事業専門相談医

なお、保健厚生課において本書の編集に当たった。

	刈間 俊也	課長兼保健・安全係長
	豊森 孝弘	保健・安全係 担当係長
	小出まゆみ	保健・安全係 主任指導主事
	松村 真一	保健・安全係 指導主事
	須山 千才	保健・安全係 指導主事

イラスト：諏訪養護学校 竹内奏子(Droplet Project)

平成 25 年度文部科学省委託事業 学校保健課題解決支援事業

平成 26 年 2 月 長野県教育委員会 保健厚生課

長野市南長野幅下 692-2

電話 026-235-7444 FAX 026-234-5169

E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp
